

工学研究科 数理工学専攻〔修士課程〕

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>工学研究科では、学部教育で培われた持続可能な社会に向けた工学の知識と技術を基盤にして、現代の複雑化する諸問題の本質を明らかにし未来を切り拓く構想力とデザイン力を身につけ、各専攻の所定の修了要件を満たした者に学位を授与する。</p> <p>◆数理工学専攻〔修士課程〕 数理工学専攻（修士課程）では、自然現象、社会現象に対してその本質を見抜き、理解し、問題解決に役立てるために、モデル構築と解析を2つの柱とする数理工学の専門能力を身につけ、それらを実社会で活用できる人材を養成することを目的とする。 この目的を実現するために、以下の要件を満たすとともに、所定の単位を修得し、かつ、修士論文についての審査及び試験に合格した者に、修士（工学）の学位を授与する。</p> <p>①モデル構築と解析に必要な最先端の数学、統計理論、コンピュータシミュレーションなどをコアとして、数理工学に関連する高度な専門知識・技術力を身につけていること。</p> <p>②高度専門職業人や研究者を目指して数理工学を学んだ者として、広く現代社会に現れる諸問題の本質を明らかにし、未来を切り開く具体的な提言を与えることができる分野横断的思考能力を身につけていること。</p> <p>③数理工学の高度な知識、技術を駆使することから、IT、金融、社会インフラなど現代社会に現れる諸問題に的確な指針を与えることができる、提言・問題解決能力を身につけていること。</p>	<p>工学研究科では、学部教育で培われた持続可能な社会に向けた工学の知識と技術を基盤にして、現代の複雑化する諸問題の本質を明らかにし未来を切り拓く構想力とデザイン力を身につけ、人間社会の発展に寄与する高度専門職業人および研究者を育成するために必要なカリキュラムを編成する。</p> <p>◆数理工学専攻〔修士課程〕 数理工学専攻（修士課程）では、学位授与の方針（ディプロマポリシー）に沿った成果を上げるために、カリキュラムを【基盤科目】【専門科目（専門必修）】【専門科目（専門選択）】【研究指導】から構成する。 数理工学分野の拡がりど深みを学修し、分野横断的な視点から提言、問題解決ができるようにするために分野横断的科目を必修科目として【基盤科目】【専門科目（専門必修）】に配置し、併せて、多様で専門的な知識や技術を身につける科目を広く【専門科目（専門選択）】に配置することで、幅広い視野から専門知識や技術力を学修する。 また、これらの専門科目を修めるとともに、【研究指導】の科目を初学年より配置し、最先端の研究を学ぶことで、提言・問題解決を導く力を確実に身につける。 これにより、数理工学分野における独自性のある研究を自ら行い、それらを修士論文としてまとめ、所定の審査を受けることにより、研究力と成果をまとめ発信する能力を身につける。</p>